

一緒に盛り上げよう！！ ～みんなで町づくり～



矢上みらいまちづくり協議会



地区の概要

■人口構成(令和7年12月時点住民基本台帳データ)

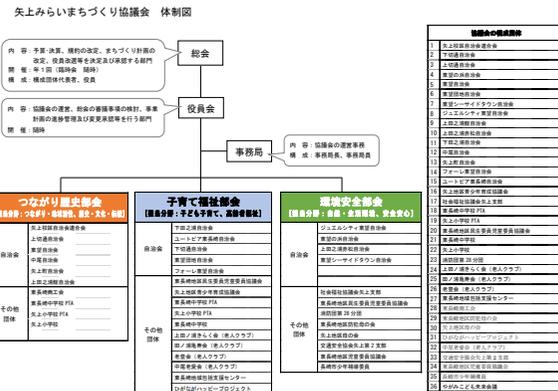
世帯数	人口				
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計
4,062	人数(人)	1,155	5,318	2,070	8,543
	構成率(%)	14%	62%	24%	100%

■地域の特徴・課題など

- ・長崎街道の玄関口、宿場町として歴史的にも人を迎え入れる文化が根強い街。人口が長崎市の中でも多い理由は子育てしやすい街。買い物もそうだが、地域の人がいいつも見守ってくれている安心感。高校受験の際、長崎市・諫早市・大村市・長与町などの高校へも通える選択肢がある。
- ・課題は人口のわりに雨の日に遊べる場所がない。人口のわりに警察署がない。交番。総合病院がない。

協議会の紹介

- ・協議会の活動範囲
矢上小学校区
- ・部会型
3つの部会で構成
- ・加入団体は？
現在36団体で構成
- ・事務局は誰が行っている？
東長崎地域センター1Fに事務局を置く



「やがみ子ども未来会議」で子供たちにアイデア・企画を出してもらい、部会ごとに主要イベントを運営し、イベント時は部会の垣根を越えて協力体制をとって運営しています。

やがみハッピーハロウオーク

- ・2018年より非営利団体「ひがながハッピープロジェクト」の主催でハロウィンイベント、仮装スタンプラリーや仮装コンテストを通して子供たちに考動力や適応力、感性を磨いていく場を提供し毎年約300名が参加するイベントを行っていた。
 - ・ひがながハッピープロジェクト様より、運営費や主催側の人員の不足といった問題を協議会が主催することでより良いイベントにできないかと相談があり2024年より矢上みらいまちづくり協議会主催の行事として引き継いだ。
 - ・2024年はオープニングに東長崎中学校在校生による変面ショーを皮切りに、仮装クイズウォークラリー、仮装コンテストなどを行った。東長崎中学校合唱部による参加型の合唱も開催しにぎわいました。
- サブ会場ではハロウィンマルシェも行い12店舗の出店と43社のご協賛も頂き総参加人数700名超のイベントとして大盛況のイベントになりました。

URL: [\(2\) 矢上みらいまちづくり協議会 - YouTube](#)

やがみハッピーハロウオーク

・2025年度は今までの内容に加えてオープニングに橘中学校吹奏楽部の会場参加型演奏もあり最高潮の形でスタート。さらに子供たちに自主性を持ってもらうためにこども未来会議で小中学生自らが企画した〇×クイズやビンゴ大会をステージで行い大いに盛り上がりました。なんと約1,000人の参加の一大イベントになりました。

※課題は、ゲームの商品を協議会の運営費で出費できずに協賛に頼らざるを得ないこと。参加者が増えればスタッフも増員が必要なので次年度以降の課題です。

URL: [\(2\) 矢上みらいまちづくり協議会 - YouTube](#)



5

節分祭

・毎年節分の日に合わせて、地域の守護神社である矢上神社の境内で毎年1,000人以上の来場がある地域行事として矢上商店会主催で豆まきを行っていた。以前は40店舗を超える商店会が今では4店舗になり資金面も運営人員も不足し今後開催が難しいとのことで協議会に相談があり、2024年より当協議会主催で節分豆まきを行うことになりました。

・つながり歴史部会を中心に企画運営を行い、当日は1,500人を超える方に来場頂き、ハロウオークと並ぶ当協議会の一大イベントになりました。

6

節分祭

・新たな取り組みとして東長崎中学校美術部様に「お多福門」を作成頂き節分の日、前後1週間矢上神社の境内入り口鳥居に設置。新聞にも取り上げられました。また夕刻からの行事のためキッチンカーや露店も出店頂き約1,500人のご来場を頂きました。

・来賓代表者様をはじめ年男男女の方に舞台上がって頂き、一年の抱負を一人ずつ挨拶してもらい6回に分けて6,000セットの豆まきをしました。

・豆の袋に地域の商店から協賛頂いた商品の当たりくじが入っており600セットお渡しし大好評でした。

・今年度は新聞折り込みチラシを入れて周知を広げ、8,000セット豆を準備しています。



7

協議会設立のきっかけ

・矢上小学校区には、以前から様々な団体がそれぞれに活動を行っていました。その団体の横のつながりとコミュニケーションの場としての地域コミュニティーが必要だという観点から、「矢上小学校と子供たち」を中心にした協議会にしたいという考えから、子供たちにも話し合いに入ってもらい3回の「矢上みらいトーク」で矢上の未来像を語り合って令和5年1月9日に設立しました。

・初年度が矢上小学校150周年とも重なり、記念事業を協議会で執り行うことで発足から各団体が非常に協力的に参加して頂けて今日に至ります。

・ URL: [\(2\) 矢上みらいまちづくり協議会 - YouTube](#)

8

協議会の活動を通して良くなったこと

- 子供たちと地域住民が触れ合う機会が増えた。
- 子供たちがやりたいことを大人が支える機会ができた。
- 老人会ともグランドゴルフ大会などでふれあえた。
- 今まで手が届かなかったことができた、節分・ハローウオーク・150周年事業など。
- 各団体の横のつながりができた。

協議会運営において心掛けていること

- 子供たちの意見を全面的に取り入れてそれを大人が支え運営することを一番に心がけています。(子供は地域の宝！)
- 安心安全を最優先にする事。子供を守るネットワーク事業を危険個所の見回りでマップ作りに落とし込み行政各機関に提出し、各団体にも配布しました。

9

活動するうえで苦労したこと

- 非協力的な団体へのアプローチ。
- イベントの際に協賛を募って資金を調達しなければ活動を制限され子供たちのやりたいことができない。
- 年齢世代間の考え方や協議会へのかかわり方のギャップ

それを乗り越えるために工夫したこと

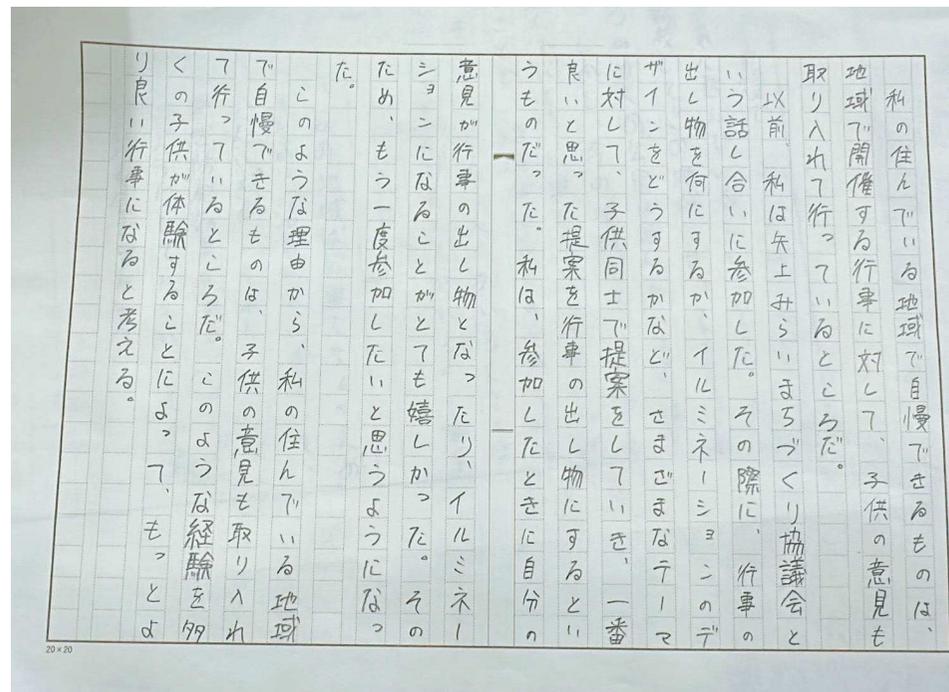
- 地道な協力要請を会長自らをお願いしている。
- 地域の企業・店舗に申し訳なくお願いしている状況。
- 特にPTAを卒業し、自治会役員になるまでの40代後半から50代の方への協議会への参加のアプローチが難しい。

10

今後の展望

- 今後の展望は、ただ単にイベントを増やしていくと協議会とスタッフの負担が増えていき疲弊していく。可能な限りイベントを同日に同会場でミックスして執り行おうという意見が出ている。例えばハッピーハローウオークの日に同会場で防災・防犯講習を行うとか、モルック大会を行うなど。
- 年2回のこども未来会議を増やしてもっと子供たちにアイデアを出してもらうとともに子供たちが自主的に協議会の活動に関わってもらう機会を増やしたい。
- 高校生や大学生に地域活動に関わる場として協議会に参加してもらおうスキームをつくり、「矢上に10年20年住みたい」と思ってもらえるような協議会にしたい。

11



12

連絡先

- 矢上みらいまちづくり協議会
- 長崎市矢上町19-1東部地区にこにこセンター1階
- yagami.mirai0109@gmail.com
- [\(公式\)矢上みらいまちづくり協議会HP](#)



ホームページ



YouTube



Instagram